



2021年12月8日 東地申第28号

## 「車両検修部門（田端・尾久）統合について」に関する解明申し入れを行う！

地本は、9月16日に「車両検修部門（田端・尾久）統合について」の提案を受けました。新型事業用車両の導入、輸送体系の変化、世代交代と社員数の減少等の構造変化に対応するため、田端運転所の車両検修部門を尾久車両センターに統合し、田端運転所の車両を尾久車両センターに配置するというものです。具体的には、キヤE195系やE493系の導入、碎石輸送やレール輸送方法の変化、生産年齢人口の減少に伴う社員数の減少が理由として挙げられています。また、実施時期は2022年4月となっています。

地本は、提案を受けて以降、関係職場と議論を重ねてきました。職場では、社員説明が行われましたが、提案された資料を説明するのみで、体制や教育がどのようになるのか、労働環境がどう変化するのかなど、具体的なことが明らかになっていません。

よって、以下の項目について解明申し入れを行いました！

1. 田端運転所検修部門と尾久車両センターを統合するとした経緯と根拠を明らかにすること。
2. 本施策によって、体制がどのように変更されるのか具体的に明らかにすること。
3. 施策実施に伴い、教育および技術継承をどのように行っていくのか、考え方を具体的に明らかにすること。
4. 現在尾久車両センターにおいて間内改良工事が行われているが、本施策によって詰所や作業場など、労働環境がどのように変更されるのか明らかにすること。
5. 現在誘導業務について、田端運転所構内は田端運転所検修部門が担当し、尾久車両センター構内は尾久駅が担当しているが、統合後はどのように変更になるのか明らかにすること。
6. 田端運転所検修部門社員の点呼場所と待機場所がどのように変更になるのか具体的に明らかにすること。
7. 2022年4月の統合に向けた詳細なスケジュールを明らかにすること。

今後、現場の声をもとに団体交渉に臨んでいきます！